

## 講座名：応用言語研究

### 注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の合否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

第二言語習得を説明する上で重要と考える習得理論を取り上げながら、外国語の音声習得・学習について、日本語または英語でその概要をわかりやすく説明しなさい。

日本語の場合は2000字程度で、英語の場合は1000語程度で作成すること。他者の論考を参照・引用する際には、課題回答の末尾に参考文献表を記載した上で、必ず参照・引用元を明示してください。参考文献表は上記の字数制限に含めません。Wikipediaなどのオンライン事典は参照・引用に用いてはいけません。

なお、この課題は、公開済みの論考の参照・引用以外、他者の助けを借りて回答してはいけません。